

“鉄より堅く逞しき”

生徒指導通信 第27号
令和3年11月29日発行
黒沢尻工業高等学校

○自分の身の安全を確認しよう！

先日、愛知県の中学校で男子生徒が隣のクラスの生徒を刺すという事件が起きました。2人の間に何があったのかは分かっていないそうですが、事前に購入した包丁を持ち込み、わざわざ廊下呼び出して犯行に及んでいることを考えると、何らかのトラブルがあったことは想像できます。

校長先生の話によると、2人とも特に問題となる生徒ではなく、ごく普通に学校生活を送っていたそうです。授業や部活動、アンケート調査や作文、あるいは不登校傾向になる等、問題を起こしてしまう生徒には何かしらの予兆があるものです。それが全くなないと、先生方にとってはお手上げになってしまいます。それでも、校内でこのような痛ましい出来事が起こるのは、非常に残念でなりません。

では、どうすればこのような事が起こらないようにできるか、考えてみましょう。考えられるのは心の問題です。加害者の生徒には、悩み事や愚痴を聞いてくれる人はいたのでしょうか？表面だけの友だち付き合いになっていなかったのでしょうか？本気で取り組めることはあったのでしょうか？

このようなことを他人事とは思わず、自分に照らし合わせてみてください。人間には“喜怒哀楽”が備わっていますが、それを表現できる状況にあるのでしょうか？“自己開示”といって、自分をさらけ出す機会はあるのでしょうか？この際ですから、改めて自分のことを確認してみてください。

もし、そのような環境にないと感じている人がいるのであれば、是非、勇気を出して第三者である専門の機関に連絡を取ってみてください。身近な人に打ち明けにくいのは仕方ないことですが、利害関係のない他人であれば、心が晴れるきっかけになるかも知れません。是非、話してみてください。

心が落ち着いて整えば、健全な学校生活は送れるはずです。決して他人事ではないので、周りにいる人への目配りもしてみましょう。

○冬期間の登下校について

めっきり寒さが深まり、本格的な冬が到来しました。ここ数年、積雪はそれ程多くはありませんが、それでも朝夕の寒さは厳しく、路面凍結のおそれがあります。そこで、皆さんの安全な登下校を願い、12月から3月までの期間は、自転車での通学を控えてください。日によって天候や気温は変化しているので、大丈夫ではないかと思われそうですが、全く陽が入らないカーブやマンホールの上は非常に危険で、滑って転倒すれば、身の危険にまで及びます。

電車や徒歩通学、保護者の送迎を徹底したいところですが、経済的な問題や家庭事情を考えると、強制はできません。高校生としてできることを工夫してみてください。電車通学に切り換えた時の定期券代を保護者をお願いするのか自分で何とかするのか。近所の友だちと一緒に送迎してもらえるか。

このようなことは、自分1人の判断ではなく、保護者と相談して決めましょう。親に負担を掛けないように自転車通学で頑張ろうとしても、怪我をすれば余計に迷惑を掛けることになりかねません。しっかり話し合って、最善の策を講じてください。

また、保護者が送迎する場合、校地内では一方通行をお願いしています。詳細は後日示しますが、校門東口（ほっかほっか亭側）か北口（実習棟側）から入り、西口（伊勢神社側）から出てください。ご協力をお願いします。

